目次

1. 薬理学的分類 2
2. 作用機序 2
3. 予定している剤形及び投与経路 2
4. 予定している臨床用途 2

1. 薬理学的分類

エビナクマブ（開発コード：REGN1500）はアンジオポエチン様タンパク質 3（ANGPTL3）に特異的に結合して阻害する完全ヒトモノクローナル抗体［免疫グロブリン G（IgG）4 アイソタイプ］である。

本邦で予定している販売名はエヴキーザ点滴静注液 345 mg である。

本製剤の本邦における製造販売業者は Ultragenyx Japan 株式会社である。

2. 作用機序

ANGPTL3 はアンジオポエチン様タンパク質（ANGPTL）ファミリーに属しており、主に肝臓で発現し、リポタンパクリパーゼ（LPL）及び血管内皮リパーゼ（EL）を阻害することにより脂質代謝の調節において重要な役割を果たしている。ヒトの遺伝子研究において、*ANGPTL3* の機能欠損（LOF）型変異の保有者は、変異がない場合と比べて低比重リポタンパクコレステロール（LDL-C）、高比重リポタンパクコレステロール（HDL-C）及びトリグリセリド（TG）の値が低く、冠動脈疾患のリスクも低いことが知られている。

エビナクマブによる ANGPTL3 阻害作用により、LDL-C、HDL-C 及び TG が低下し、*ANGPTL3* LOF 変異保有者の脂質表現型が再現される。すなわち、エビナクマブによる ANGPTL3 の阻害によって LPL 活性及び EL 活性が回復し、TG 及び HDL-C を低下させる。エビナクマブは LDL 形成の上流にある超低比重リポタンパク（VLDL）の処理とクリアランスを促進させることで、LDL 受容体（LDLR）の有無に依存せず LDL-C の低下をもたらす。

3. 予定している剤形及び投与経路

バイアルサイズ	最小充填量	採取容量	エビナクマブ含有量	投与経路
3 mL	2.7 mL	2.3 mL	345 mg	静脈内投与

4. 予定している臨床用途

エビナクマブは、ホモ接合体家族性高コレステロール血症（HoFH）の治療薬としての適応を予定しており、食事療法及びその他の LDL-C 低下療法と併用される。